

(資料 2)

## 第2回女性活躍井戸端会議WS

### 「女性に選ばれる町ってどんな町？」

#### Aグループ「都会と同じくらいの収入が得られる町」

- ・若い世代が都会から移住
- ・お金の循環が良くなる（洋服、美容、食等へ使えるお金が増える）  
→利用が増えると、働く人やお店が増える→女性が働きたい職場が増える→女性が増える
- ・託児の充実（時間や曜日に制限されない働き方、サービス業と学校のお休みが合わない）
- ・箕中の制服を変える（着たい、子どもに着せたい→将来に繋がる）

#### Bグループ「どの年代も安心して暮らせる町」

- ・生活する上で、お金の心配をしなくてよい（子育て、通勤、介護、免許返納後の買い物）
- ・区費の軽減、転入前にどのくらいかかるか分かる（生涯住むことをイメージして家購入）
- ・人口減少データを町民に公表を（年代、性別、内訳など）→町民に危機感をもってもらう
- ・戻ってきてほしい年代を絞ってアプローチ（帰ってこない本当の理由は？）
- ・若者や女性が求める仕事が少ない
- ・町の主力である製造業の魅力を若い人に伝える

#### Cグループ「子育てしやすく、遊べる町」

- ・有名な場所をつくる
- ・賃貸住宅へ家賃補助
- ・映える飲食店を→女性に来てもらう、知ってもらう、住みたいと思ってもらう
- ・税金が安い

#### Dグループ「フレキシブルに働ける町」「情報発信力のある町」

- ・フレキシブルに働ける職場がある  
→子育て等しながら仕事や社会に復帰できる  
1人分の仕事＝子育て中の人＋副業の人 など組合せ
- ・働き方や暮らし方を外に発信していく

#### Eグループ「イオンモールがある町」

- ・買い物だけでなく、小児科や高齢者の遊びの場
- ・自然と触れ合う機会や場所はあるが、都会感が足りない要素
- ・人が集まれる場づくり